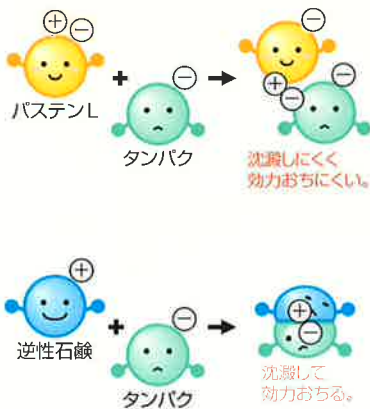


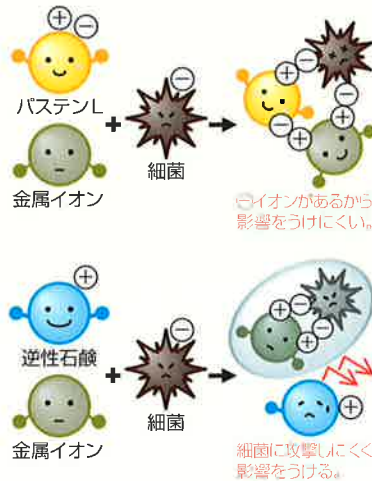
殺ウイルス
殺菌・消毒剤

パステン[®]L

有機物の影響



金属イオン共存下の影響



洗浄力



成分および含量(本剤100mL中)

ポリアルキルポリアミノエチルグリシン塩酸塩50%液	14 g
ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル	3 g
香料	微量

〈包装〉

- 1 ℓ ポリ容器(1ケース20本入り)
- 18 ℓ ポリ容器
- 180 ℓ ドラム缶

用法および用量

適用対象	用法・用量
畜舎	140～700倍水溶液を床面、壁または天井に適量散布する。
乳房・乳頭	500～1400倍水溶液で清拭する。
搾乳器具	140～700倍水溶液にて散布、塗布または浸漬する。
踏込消毒槽	140～700倍水溶液を使用する。
種卵卵殻	500～1400倍水溶液に3～5分間浸漬する。
豚体	140～700倍水溶液を適量噴霧する。



製造販売元



株式会社

養日化学研究所

〒463-0072 名古屋市守山区金屋2丁目393番地 TEL 052-791-2084

1 パステンLの特徴

- (1)殺菌力が強く、悪条件下(有機物・水質など)でも安定した効力を発揮します。
- (2)ほぼ、無色・無臭です。
- (3)毒性および副作用が少なく、安全性の高い消毒剤です。

2 両性石鹼(パステンL)と逆性石鹼との違い

項目	パステンL	逆性(陽性)石鹼
石炭酸係数(殺菌力)	10%濃度 47	10%濃度 45
毒性試験(LD50mg/kg:ラット)	3,000mg/kg	683mg/kg
結核菌に対する殺菌力	人・牛・鳥型に有効	鳥型にのみ有効
Point 有機物の影響	受けにくい	受けやすい
Point 水の硬度及びPH変化の影響	受けにくい	受けやすい
Point 金属イオン共存下の影響	受けにくい	受けやすい
Point アルカリ性物質及び陰イオン活性剤の影響	受けにくい	受けやすい
Point 日光の影響	受けにくい	受けやすい

3 パステンLの効力

微生物名	2.5分	5分	10分
チフス菌TD株(名古屋衛研)	1,200倍	2,800倍	3,200倍
ヘモフィルスガリナールム(岐阜大学・大阪家禽試)	—	1,000倍	1,300倍
マイコプラズマガリセプティカム(岐阜大学・大阪家禽試)	100倍	—	1,100倍
豚コレラ菌(名古屋衛研)	1,000倍	1,200倍	1,600倍
NDウイルス 佐藤株(大阪家禽試)	—	50倍	100倍
IBウイルス シガ株(大阪家禽試)	—	100倍	100倍
ILTウイルス 352株(大阪家禽試)	50倍	—	—

4 パステンLの食中毒原因菌に対する効果

微生物名	石炭酸係数
Point 大腸菌 O-157	28
Point サルモネラ エンテリティディス	13
赤痢菌(名古屋衛研)	14

5 使用上の注意

【一般的注意】

- (1)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用してください。
- (2)本剤は定められた用法・用量を厳守してください。
- (3)本剤を畜体に直接噴霧後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないでください。 豚：7日間

【使用者に対する注意】

- (1)原液及び濃厚液が、皮膚・眼・飲食物・飼料・被服・幼児の玩具等に直接かからないように注意してください。万一、皮膚や眼に付着した場合には、水でよく洗ってください。
- (2)散布又は噴霧中には、マスク等を着用して本剤を吸い込まないように注意してください。
- (3)アレルギー体質者等で、発赤・掻痒感等の過敏症状が現れた場合には直ちに使用を中止してください。
- (4)原液及び希釈液を誤飲(誤食及び誤飲)しないように注意してください。

【対象動物に対する注意】

- 「適用上の注意」
搾乳直前の乳房・乳頭の消毒は避けてください。

【取扱い上の注意】

- (1)他の殺虫剤や消毒剤と混用しないでください。

- (2)有機物質等(糞・尿等の汚物、血液、血清、牛乳等)は、本剤の消毒効果を減弱させるので、水で十分に清拭又は洗浄して有機物質等を除去してから使用してください。

- (3)希釈液は使用の都度調製してください。
- (4)寒冷地において冬期に結晶が析出した場合は、加温して溶解した後使用してください。

- (5)希釈液を調製する場合は、次のことに注意してください。

- ア)原液は、油脂や他の薬品類と直接触れさせないでください。
- イ)鉄・亜鉛・ブリキ等の金属器具を腐蝕させることがあるので、プラスチック製又はステンレス製の容器等で調製してください。
- ウ)調製に使用する容器は、予め十分に水洗しておいてください。

- (6)搾乳器具は消毒後、水で十分に洗浄し、牛乳中に薬剤が混入しないようにしてください。
- (7)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分してください。
- (8)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分してください。
- (9)大量の薬液が活性汚泥法による污水处理施設等に流入しないように注意してください。

- (10)大量の薬液が活性汚泥法による污水处理施設等に流入しないように注意してください。

- (11)大量の薬液が活性汚泥法による污水处理施設等に流入しないように注意してください。

【保管上の注意】

- (1)食品用の容器に小分けして使用又は保管しないでください。
- (2)幼児の手の届かない暗所に保管してください。